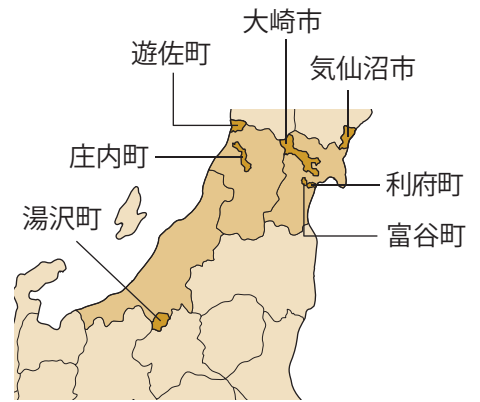


委員会視察レポート



議会活性化特別委員会

新潟県

町民に理解される

議会を目指して

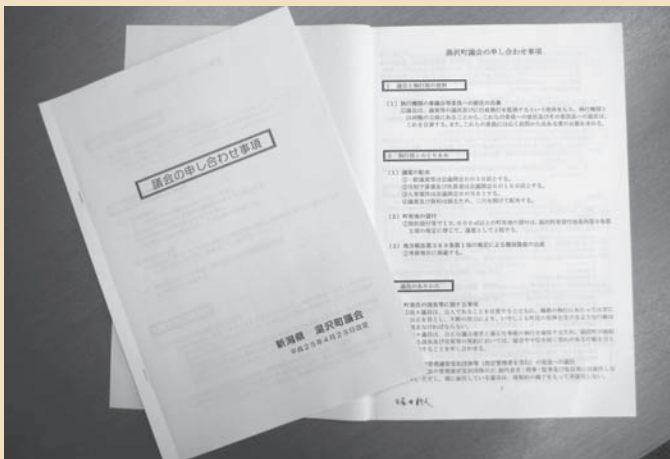
11月8日、「議会の申し合わせ事項」が施行されている新潟県湯沢町を視察しました。

議会と執行部との役割、議員のあり方、執行部との取り組み、順守事項の確認、議会や委員会運営、町民の情報提供、災害時の行動マニュアルまで明文化されています。

議論の中で、この自治体でも議会の活動や姿が見えないとの声もあります。しかし、いかに町民の声を集約し、まちと議会につなげて反映させていくのかが重要なことであると思えました。

これからは、町議会もより一層町民に理解されることを目指したいと思います。

(委員長 齋木輝彦)



駒寄IC周辺整備及びJR新駅設置促進対策特別委員会

宮城県

駒寄スマートICの

大型化をめざして

11月14日、15日、宮城県大崎市三本木スマートICと気仙沼市を視察しました。

三本木スマートICは、建設費6億3千万円で、地元負担は1億9千万円をかけ、平成21年9月18日に開通し、2年後に大型車12台までの車両が利用されるまでになりました。

すでに、国道4号線沿いに大手企業が進出しており、開通により、さらに規模の拡張を図っているとのこと。また、国道4号線の、渋滞の緩和にも寄与しています。

気仙沼市では、東日本大震災での災害状況と今後の対策について説明を受け

ました。死者は1041人、行方不明者は237人とのこと。早期の復興を望むものです。

この研修を生かして、駒寄スマートICも早くに工事申請をしたいものです。

(委員長 南雲吉雄)



再生可能エネルギー策定に向けて 健全な財政運営の取り組みを目指して

11月25日、26日の2日間、山形県遊佐町と宮城県富谷町にて視察研修を行いました。

遊佐町では平成12年より「遊佐町地域新エネルギービジョン」を策定し太陽光発電設置を皮切りに多種多様な再生可能エネルギーを導入してきたとのことでした。地上より風車の羽の先端まで約100メートルに及ぶ7基（1基7億円）の風力発電を視察した時には環境問題を考える良い機会でした。

富谷町では「開発指導要綱」により町づくりを推進してきました。新庁舎建設でも建設予定費30億円を積み立て目標額達成後に建設したとの説明



遊佐町視察研修資料より

でした。借入れは極力避け、歳入確保に職員の努力がうかがわれました。

この財政運営には学ぶものが、多くありました。

（委員長 山畑祐男）

編集技術の向上を目指して

11月19日、20日の2日間にわたり、議会広報紙編集技術向上のための視察研修を実施しました。

庄内町の議会だよりは、平成24年度町村議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞した高い編集水準です。編集方針は、井上ひさしさんの言葉を引用し、「難しいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことを愉快地、愉快なことを真面目に書く」を信条としていました。

利府町の議会だよりは、同じく平成24年度町村議会広報コンクールで優秀賞を受賞した広報紙です。

編集方針は、審議の結果だけでなく、審議経過と内容をわかりやすく、



正確に住民に伝えるということでした。

両町議会とも、いかにわかりやすく、正確に、住民目線に立つて、住民に親しまれる議会だよりを目指していることを感じました。

（委員長 石倉 實）

群馬県町村議会広報

研修会に参加して

11月27日に県市町村会館において開催された県広報研修会に参加しました。吉野 政明氏（埼玉県県コミユニケーショントラスト理事長）が講師として招かれ研修会は進められました。

午前中は議会広報の編集の目安について学びました。

要点としては、審議や議会活動が適切に企画され、透明度の高い記事であるか。ページ・ネーションが読者に読みやすくなっているか。議会の焦点なり、地域政策の課題が住民の立場から伝えられているか。政策の監視や政策提言機能を果たしているか。の4項目が特に参考になりました。



は、吉岡町を含め3町村の広報紙を講評していただきました。わがまちは、議会広報の常任委員会の設置や議会広報モニター制度、住民参加型のコーナーの充実などについても高く評価されました。今後も町民に読みやすい広報紙づくりを目指します。

(委員長 石倉 實)

議員研修報告

10月23日、24日の2日間、渋川市伊香保町および吉岡町文化センターにおいて、北群馬郡町村議会議員研修会および群馬県町村議会議長会主催の研修会が開催されました。北群馬郡研修会では、議会基本条例や道州制について、2人の講師から、わかりやすくかつ熱心な講義を受けました。

また、県議長会研修会では、東日本大震災の被災地である岩手県大槌町の平野総務部長の講演を聞きました。被災自治体の職員としての声、さまざまな葛藤、大きなスクリーンに映し出された生々しい映像の数々に、改めて災害の悲惨さと恐怖

を感じました。異なる分野の研修内容でありましたが、大変有意義な2日間となりました。今後の議会活動に生かしていきたいと思えます。

(議長 近藤 保)



金井利之氏 東京大学大学院教授

	演 題	講 師
北群馬郡議員研修会	『議会基本条例について』	群馬県町村議会議長会 業務課長 伊藤良和 氏
	『道州制について』	全国町村議会議長会 企画調整部長 櫻田潤一郎 氏
群馬県町村議会議員研修会	『町村議会に期待する』	東京大学大学院 法学政治学研究科 教授 金井利之 氏
	『あの東日本大震災から2年6か月 その経験と教訓を語り継ぐ』	岩手県大槌町 総務部長 平野公三 氏